

令和2年度の入札に係る基本的な取扱いについて

入札制度の透明性、公正性、競争性を確保しつつ、地元建設業の振興と地方経済の活性化に配慮し、次のとおり取り扱うこととします。

なお、令和2年度における入札制度については、令和元年度と同様となります。

1 指名競争入札の対象範囲について

令和元年度に引き続き、予定価格5,000万円未満まで拡大します。

2 発注基準等について

発注基準等については、令和元年度同様に取り扱うものとします。

(1) 格付している工種

土木一式工事 ABC級

建築一式工事 AB級

舗装工事 AB級

上記以外の工種については、格付していません。

(2) 発注基準金額について

工種	等級	発注基準金額
土木一式工事	A	500万円以上
	B	3,500万円未満
	C	1,000万円未満
建築一式工事	A	500万円以上
	B	3,000万円未満
舗装工事	A	130万円超
	B	1,000万円未満

(3) 指名基準数について

発注見込み金額	指名業者数
500万円未満	5者以上
500万円以上	6者以上
1,000万円以上	8者以上
5,000万円以上	10者以上
10,000万円以上	12者以上

3 入札時における積算内訳書提出の取扱いについて

予定価格1億5千万円以上の案件については、国の例示（土木：工種まで、営繕：科目別内訳まで）に相当する項目を記載し、入札時に提出してください。

なお、予定価格1億5千万円未満の案件については、現行の様式を継続します。

4 現場代理人の常駐義務緩和措置について

足利市が発注する工事で請負金額3,500万円未満の工事3件までの兼任を認めていますが、引き続き緩和措置を継続します。

5 その他

最低制限価格の算定式等についても、現行通りとします。